

女性を対象にした「町長と語る会」記録（H29.7.25） 参加者 女性4人

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
1	<p>女性消防団に入団しており、現在は2人で活動している。救急講習や啓発活動、消防イベント補助などがあり、活動してみても楽しい。また、有事の際に女性としても出来ることもあるので、自分のためにもなる。しかし、女性消防の県会議に出席しても三川町の人数の少なさが気になった。</p> <p>そこで町からは、女性消防団をもっと宣伝して欲しいし、入団者を増やして欲しい。また、私から勧誘しようとしても日曜日出席要件があることから、なかなか承諾を得られないため、その要件を外して入団しやすくして欲しい。</p> <p>あと、男性用の活動服を着ているので、女性用を準備してもらえると嬉しい。（ボタンやチャックが男女では逆）</p>	<p>「町長」 この件については、消防団長からも言われている。庄内の各町では女性消防団が活躍している。三川町も今までもいろいろな方からしていただいていたが、中々継続してもらえなかった。来年度に向けて女性消防団の募集を積極的にしていかなければならないと話をしていただいているところですので、今後とも協力をお願いします。</p> <p>町からの募集だけでは、手を挙げてくれる人は少ないため、皆さんからも声掛けしてもらいたい。</p>	総務課	<p>町による募集を継続していきますが、消防団員の声かけによる募集効果は大きいと思われるので、ご協力をいただきたいところです。また、必ずしも日曜日の消防イベントに出席できることが入団要件ではないため、入団に前向きな方がいれば事前にご相談いただきたいと思います。</p> <p>服装に関しては、今後の整備に向け、予算を確保をしていきたいと考えています。</p>
2	<p>子どもが高校に通うときに、鶴岡や酒田まで遠い。自宅から高校や最寄り駅まで自転車通学しているが、親として心配。例えば、スクールバスのように朝や帰りだけでも駅に送ってもらえれば心配が減る。</p>	<p>「町長」 県内市町村と国との意見交換をする際も、子どもの送迎問題が出て、高校であればそのような問題があり、県内の町村では小中学校でも家族が送り迎えをしているとの意見が出た。</p> <p>三川町の場合、路線バスが通学の時間が合わなかったり、乗り換えが必要な場合もあるため、結局は家族が送り迎えをしている課題があり、県内町村も同じ状況だった。</p> <p>町内での巡回バスは可能だが、町を越えて隣市町へは行けない仕組みがある。その背景としては、庄内地区であれば庄内交通があり、その路線バスの運営に影響を与えてしまう。現在も路線や便数が減少している。新たな運行方式が求められており、国もそのことを把握しているため、運行エリアが改正されれば、通学の不便さが改善されるだろう。</p> <p>「企画調整課長」 町で運行しているデマンドタクシーも町を越えられない。解決するためには該当市町と、バス会社の営業に影響するため庄内交通からの承諾が必要。庄内管内の5市町での会議でも出ている課題だが、中々解決されない。通学だけでなく、通院手段としても大変な課題であると認識している。</p>	企画調整課	(左記回答のとおりです)

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
3	<p>子育て関係にはいろいろな助成があり、助かっている。自分の健康にも関心が出てきて、30歳を越えてからは、子宮がん検診も助成があり受けようになってきた。最近乳がんを特に心配している。若い世代でも乳がんの検診が受けられるような助成があるといい。</p>	<p>「町長」          早期発見ということで、検診の受診を呼びかけており、定期健診のほかに、年代の節目受診を行っている。若い人では特にすい臓がんも心配している。働き盛りの方々の一人ひとりの健康管理という面でも検診の重要性の理解がまだ足りない。若い人からも理解してもらうために、町でももっと強く言っていきたい。          また、受診料の助成については、対象者を増やすと事業費が増え、皆さんの保険料にも反映されてしまうので、検討が必要。          このように皆さんが思っていることを意見として町に出してもらえることは大事であると思っているので、意見が出たことを町民にも広く伝えていきたい。</p> <p>「企画調整課長」          各町内会で開催している健康まつりにもなかなか若い人は出席しない。検診は身近なものなのでもっと関心を持ってもらえるように、また、がんの発症率が減れば医療費の削減にも繋がることから、町として今後も啓発していきたい。</p>	健康福祉課	<p>厚労省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に準じ、町では乳がん検診の対象を「40歳以上の女性」としています。また、がん検診ガイドラインでは、40歳未満の乳がん罹患率は低く、がん検診による死亡率減少効果が検証されていないことから、検診の実施は推奨されていません。しかし、昨今の罹患率上昇傾向を踏まえ、自己検診の重要性及び異常のある場合の専門医療機関への早期受診等に関する指導を行うこととされています。          したがって、町では40歳未満を対象にした検診は考えていませんが、乳幼児健診等の母子保健事業の機会を通して、がん検診の重要性やセルフチェックの啓発を引き続き実施していきます。</p>
4	<p>秋田県での河川氾濫を見て、赤川が氾濫したらどうなるのか心配。</p>	<p>「町長」          以前は氾濫したら、赤川の右岸側であれば袖東あたりも冠水していた。現在は、袖東の都市下水路を整備したので、より早く赤川に流すようにできる。また、赤川の流水断面積を拡大する工事をしており、赤川の安全性が高まった。</p>	総務課 建設環境課	<p>国の河川改修等事業の進捗により、以前より赤川の安全性は高まりましたが、想定を超える大雨による災害の可能性もあるのも事実です。          災害が起きても、被害を最小限に抑えるため、迅速な避難、行動を取ることが出来るよう、ハザードマップの整備や防災訓練等への支援など、ソフト面の対策も含め引き続き推進していきます。</p>

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
5	<p>袖東町内会に住んでいるが、住所が長い。 （山形県東田川郡三川町大字押切新田字対馬〇番地） また、町内会名と字名が異なるため説明しづらいし、町内会内に「大字横山字袖東」と「大字押切新田字対馬」が混ざっていて、わかりにくい。</p>	<p>「町長」 住所が長いことは、多くの方から言われてきた。また、1つの町内会内で住所表記が異なるのも、他にいくつかある。住所の変更手続きは法務局での手続きが必要で、1世帯あたり2万円ほどの経費が発生する。町全体となると5,000万円～6,000万円ほどかかる。いつかの時点ではやりたい。 東田川郡も三川町の他に庄内町があり、庄内町も関係することではあるが、検討していきたい。</p>	総務課 町民課	(左記回答のとおりです)
6	<p>青森の八戸ニュータウンに仕事で行った際に、人口増に伴い小学校が新しく開校していた。さらに広大な芝生公園もあり、子供たちがのびのびと遊んでいて、環境がすごく良かった。 三川では道の駅周辺に遊具が整備されているものの、八戸と三川では規模が違うのはわかるが、憧れを感じた。</p>	<p>「町長」 町では役場の北側に子育て支援施設を整備する予定で、年中通して親子で屋内で遊べるし、子育て支援センターと学童の機能も持たせる。近くにちょっとした公園も整備する。 「企画調整課長」 赤川の河川公園を北側に拡大し、7haくらいにする計画がある。全部出来るまでは10年くらいかかるかもしれないが、今後はそこで親子でバーベキューをしたりできる親水空間となる。</p>	—	
7	<p>地元では兼業農家が多く、高齢化も進み、米価も下がっている中で何とかしないと農業を引き受けてくれなくなる。若者が少なくなっている中で、地元が活性するためにも何かきっかけができないか。 無理くりだが、町内会で夏祭りも毎年開催している。自分たちの町内会でしかできないことをしていきたい。</p>	<p>「町長」 夏祭りのように町内会行事を開催していることは素晴らしいこと。もう1つ大切なのは、それを維持すること。町内では老人クラブも維持できない町内会が出て、現在では8つしかない。役員をするのは大変だが、女性が協力的なところは維持できると思う。サロンのように集まって話をする会を開催するには女性の働きも大切だと思っている。</p>	—	